

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路建設課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	48	交通を円滑に処理する道路網を整備する	高橋 達	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	7 人	0 人	0 人	1 人	1,287 時間	15.3 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
都市計画道路の整備率	58.2%	58.2%	58.2%	58.2%	58.2%	58.2%
幹線市道の計画事業費に対する進捗率	30.3%	48.0%	29.6%	30.4%	31.0%	36.9%

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業
- ・ **実績** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	下寺尾芹沢線道路改良事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.26	一般	37,968,000 ----- 7,484,225	事業の進捗状況	用地買収率36.5%	用地買収率8.4%	A	
2	行谷芹沢線道路改良事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業				0.19	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	道路整備率30%	道路整備率0% 用地交渉を実施	C	
3	香川甘沼線道路改良事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.66	一般	151,748,000 ----- 95,356,913	事業の進捗状況 ①【Ⅱ期】用地買収率②【西工区】用地買収率	①87.5% ②4.7%	①80.3% ②4.1%	S	●
3-2								繰越	63,385,000 ----- 63,276,591					
4	高田萩園線道路改良事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.29	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	用地買収率11%	用地買収率0% 用地交渉を実施	C	
5	市道0109号線(鶴嶺通り)歩道整備事業	狭隘な歩道の拡幅整備を行い、歩行者や自転車等の安全確保を図る。	政策的事業	●			0.75	一般	175,033,000 ----- 111,650,695	事業の進捗状況 ①用地買収率 ②道路改良工事整備率	①41.6% ②11.3%	①36.1% ②25.0%	S	
5-2								繰越	13,396,908 ----- 13,341,768					

6	市道0110号線(大岡越前通り)歩道整備事業	歩道を設置し、歩行者や自転車等の安全確保を図る。	政策的事業	●			0.53	一般	8,111,000 ----- 5,715,847	事業の進捗状況	用地買収完了	用地買収率95.9%	S	
6-2								繰越	25,591,400 ----- 25,535,490					
7	上赤羽根堤線道路改良事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.53	一般	4,636,000 ----- 268,920	事業の進捗状況	用地買収率62%	用地買収率56.2%	B	
7-2								繰越	6,069,651 ----- 6,069,651					
8	新国道線街路整備事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.50	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	用地買収率86.6%	用地買収率84.5%	B	
9	東海岸寒川線街路整備事業	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.72	一般	63,517,000 ----- 48,802,997	事業の進捗状況	【幸町】用地買収率37% 【下寺尾】道路詳細設計進捗率50%	【幸町】用地買収率9.8% 【下寺尾】道路詳細設計進捗率70%	A	●
10	浜園橋橋りょう整備事業	橋りょうを整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。	政策的事業	●			0.57	一般	11,103,000 ----- 2,660,000	事業の進捗状況	予備設計完了	予備設計進捗率45%	C	
11	開発事業事前協議の意見提出事務	道路事業・街路事業と開発事業との整合を図る。	定例・定型的事業				0.13	一般	0 ----- 0	期限内提出率	100%	100%	S	
12	街路事業用地維持管理業務	街路事業用地買収に伴う測量等業務及び買収済み用地工事着手までの維持管理を行う。	定例・定型的事業				0.18	一般	3,243,000 ----- 3,223,597	対象路線	3路線	3路線	S	
13	国・県からの道路事業費等の調査事務	国・県補助金の採択、要望、交付、請求までの事務手続きを行う。	定例・定型的事業				0.21	一般	0 ----- 0	期限内提出率	100%	100%	S	
14	国・県補助金交付申請書等の作成事務	国・県補助金の採択、要望、交付、請求までの事務手続きを行う。	定例・定型的事業				0.39	一般	0 ----- 0	補助金歳入に係る指定事務手続きの期限内提出率	100%	100%	S	
15	都市計画法第53条申請に対する意見提出事務	道路・街路・開発事業による公共施設と建築行為との整合を図る。	定例・定型的事業				0.09	一般	0 ----- 0	期限内提出率	100%	100%	S	
16	道路事業用地維持管理業務	道路事業用地買収に伴う測量等業務及び買収済み用地工事着手までの維持管理を行う。	定例・定型的事業				0.18	一般	5,277,000 ----- 5,267,429	対象路線	13路線	13路線	S	
17	他事業に係る道路整備事業等	-	定例・定型的事業				1.26	一般	9,008,000 ----- 8,958,800	-	-	-		
18	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.08	一般	0 ----- 0	-	-	-		

19	庁内共通事務	-	定例・定型の事業				0.48	一般	----- 0 0	-	-	-		
合計							8.00	予算 決算 繰越	578,086,959 289,389,423 108,223,500					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>道路建設課の平成28年度における第3次実施計画の事業数として16事業である。これらを指標の達成度で、もっとも多かったのは、「S」の9事業であり、以下「A」2事業、「B」2事業「C」3事業となっている。</p> <p>「C」の評価となった事業については用地交渉が難航したことや、予算執行上で社会資本整備総合交付金が充当できず事業目標の達成できなかったものであり、成果は今後見込めるものである。その他の事業については概ね順調に実施できたと考えている。</p> <p>近年、交付金等の道路財源が幅広く配分される傾向にあり、相対的に道路整備に係る必要な予算が確保されず、道路整備全体の進捗が大きく抑制される要因となっている。このため、更に用地買収期間の長期化を招くこととなり、供用開始が遅れ、事業効果が早期に発現できないことが大きな課題となっている。</p> <p>財源の確保が厳しい現状の中、可能な限り事業進捗を図るには、単年度毎の事業が遅延せず確実に成果が得られるような業務改善を図っていくことが必要であり、香川甘沼線道路改良事業、東海岸寒川線街路整備事業については、業務棚卸評価による業務改善を図った結果、それぞれの事業の評価が向上した。(香川甘沼線はC→S、東海岸寒川線はC→A)</p> <p>一方、職員の時間外勤務は27年度に比較し総時間で2,087時間から1,287時間となり、一人あたりに換算すると月平均21.7時間から15.3時間の縮減ができた。対外的交渉や住民説明会、設計積算業務、市民要望への対応等については時間外勤務により対応せざるを得ない状況であるが、課内の情報共有や効率的な業務の遂行に努め、時間外勤務を縮減することができた。引き続き、ワークライフ・バランスと共にコスト意識を持って、業務内容に応じて可能な限り業務の効率化を図れるよう業務改善を行い、時間外勤務の縮減を図る必要がある。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
1	東海岸寒川線街路整備事業	【効率】用地買収に伴う建物等の補償について、補償費算定業務委託の実施時期を見直したことで、早期に用地交渉を開始できたことから、年度内に用地買収を契約することができた。また、過去に買収事例が少なく難航が予想される用地交渉について、交渉手法の検討を行うため、交渉事例の知見・ノウハウを収集し、交渉の遅延リスクを回避した買収計画とした。
2	香川甘沼線道路改良事業	【効率】用地買収に伴う建物等の補償について、補償費算定業務委託の実施時期に並行して、用地買収に係る借家人の意向確認を先行的に行ったことで、複数の補償交渉を早期に開始し、全体の交渉期間の短縮化が図られたことから、年度内に用地買収を契約することができた。 【成果】事業効果を早期に上げていくため、用地取得箇所の優先度を全体的に見直し、部分整備を視野に入れた買収計画とした。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-